

第2回 自治基本条例市民会議 ～開催記録～

- 開催日 平成 22 年 2 月 15 日（月）
- 時 間 午後 7 時 0 0 分～午後 9 時 0 0 分
- 場 所 市役所南庁舎 5 階 第 5 会議室 B
- 内 容
 1. 開 会
 2. あいさつ
 3. 前回のおさらい
 4. 刈谷市自治基本条例の骨組み（案）について
 5. グループワーク『刈谷らしい条例にするためには！』
 6. 閉 会

●参加者

- メンバー 12 名（市民 10 名、職員 2 名）
- 事務局（企画政策課 5 名）
- コンサルタント 2 名

●会議の記録

1. 開 会

2. あいさつ

- ・ 企画政策課主幹よりあいさつ

3. 前回のおさらい

- ・ 事務局より、配布資料の確認をした後、資料を用いて、刈谷市政の概要や仕組みなどの説明、および第 1 回会議の検討成果について振り返りを行った。

4. 刈谷市自治基本条例の骨組み（案）について

- ・ 事務局より、「自治基本条例の骨組み（案）」について説明

5. グループワーク『刈谷らしい条例にするためには！』

- ・ コンサルタントより、本日のグループワークの内容および進め方を説明した。
- ・ A と B の 2 つのグループに分かれて、『刈谷らしい条例にするためには！』をテーマに、次の 3 つのステップでグループワークを行った。
- ・ ステップ①として、「刈谷市に足りないもの」や「条例に期待すること」の整理を通して「条例の骨組み（案）をもとに定めるべき項目」について確認した。
- ・ ステップ②として、「刈谷市のまちの特徴や魅力」や「刈谷市がめざす自治の姿」の整理を通して「理想のまち（自治）を実現するために必要なこと」について確認した。

- ・ ステップ③として、①、②の検討成果を踏まえ、条例に定めるべき事項の中で、特に重点的に検討すべき事項を抽出した。
- ・ 最後に、グループでの話し合いの成果を代表者が発表した。

6. 閉会

- ・ 次回開催予定を確認し、第2回自治基本条例市民会議を閉会した。



グループワーク（Aグループ）



グループワーク（Bグループ）



グループ成果の発表（Aグループ）



グループ成果の発表（Bグループ）

●グループワークの成果 ～刈谷らしい条例にするためには！～

※各項目の区分やキーワードは事務局で一部補足しています。

Aグループ

＜ステップ① 条例の骨組み（案）のチェック＞

□Q1：今の刈谷市に足りないものは、Q2：この条例に期待することは

区分	キーワード	内容
行政	ビジョン不足	○ まちづくりのコンセプト
		○ 行政の計画性がないのでは？
		○ 刈谷らしさ、まちづくり教育
	体制、組織の意識	○ 情報の収集→市民に広める
○ メインとなる観光は？		
他市との連携	○ 企業の協力もないのかも	
その他	○ 刈谷の道路は走りにくい	
中間 (行政+市民)	その他	○ 市役所の愛想、サービス業としての意識
		○ 市役所の課がわかりにくい
		○ 法律に縛られすぎていないか（市単独でやれることもあるはず）
		○ 川の汚れ、行政との連携がないのでは（リーダーシップ）
中間 (行政+市民)	その他	○ 議員の市全体への意識
		○ 特定の事業に肩入れする議員がいる
		○ 基本構想の理解と共有
		○ 歴史に対する関心度
中間 (行政+市民)	その他	○ 伝統文化の継承は大丈夫？
		○ 環境意識
		○ 行政への住民のかかわり
		○ 行政がやるべきことと、市民や地域で解決すべきことの境が人によってバラバラ
中間 (行政+市民)	その他	○ 企業と行政、市民との一体感
		○ 中小企業の社会貢献活動が見えてこない
		○ 教育に文化と文明の必要性
		○ 町の自然との体験学習
中間 (行政+市民)	その他	○ 障害のある人々が町の中でふつうに暮らしていける町にする
		○ 公民館協力活動、地区活動が分かれているのは？
		○ 自治組織がわかりにくい（地区公民館、子ども会、婦人会）
		○ 地域の声をまとめる仕組みがない
中間 (行政+市民)	その他	○ 中学を卒業時に厄年会などのリーダーを育成する→青年団に移行する
		○ 地域コミュニティ
		○ 地域において、人のつながりが薄くなった？
		○ 地域のつながり、一体感が少ない？
市民	地域・つながり	○ 近所づきあい
		○ 流入人口が多いため、市民相互の交流
		○ 地域・行政
		○ 小学生、中学生、高校生、大学生と地域との結びつき
市民	地域・つながり	○ 県立高校、大学との一体感
		○ みんなで防犯（地域の人を知ることから）
		○ ペットのマナー、命
		○ 子どもたちの元気？
市民	地域・つながり	○ 子どもに夢がない

区分	キーワード	内容
市民	刈谷市らしさ、特徴	<input type="checkbox"/> 外へ向けて自慢できるもの <input type="checkbox"/> 何でも行政の仕事という人がいる <input type="checkbox"/> 自分の住む街に愛着がない <input type="checkbox"/> 刈谷市への愛着 <input type="checkbox"/> 来街者へのホスピタリティ <input type="checkbox"/> 人材の流出？(外から移り住んだ人たちが、地元に戻ってしまう)
	まち・地域への関心	<input type="checkbox"/> 環境への取り組みで、行政、市民、企業の連携が不足。ごみの放置、分別、下水道問題など <input type="checkbox"/> まちづくり、地域づくりに対する無関心、道路、歩道など、住宅地など <input type="checkbox"/> エコに必要なでもある自転車の本当のマナーを考える <input type="checkbox"/> ごみ等が捨てられているひどい状態に無関心

□Q3：条例で定めるべき項目として、骨組み（案）は適切ですか？

区分	骨組み（案）に追加すべき事項
総則	<input type="checkbox"/> 理念は別に出す <input type="checkbox"/> 情報共有、双方向
参画・協働	<input type="checkbox"/> 地域で集まるきっかけ、場所（子供会も崩壊） <input type="checkbox"/> 子どもの時から地域に参加 <input type="checkbox"/> 市民のかかわり（行政への）しくみ <input type="checkbox"/> 市民の計画策定などへの参画 <input type="checkbox"/> 自治、地区ごとに「らしさ」 <input type="checkbox"/> 各地区の個性

<ステップ② 前文を考えてみよう>

□Q1：刈谷市ってどんなまち？

区分	刈谷市の特徴・魅力など
自然・気候	<input type="checkbox"/> 自然災害が少ない（山、海が少ない） <input type="checkbox"/> 気候が穏やかで住みやすい <input type="checkbox"/> 都会と田舎が混在している
立地	<input type="checkbox"/> 他都市への利便性がよい <input type="checkbox"/> 交通至便 <input type="checkbox"/> 地理的な特性、利便性 <input type="checkbox"/> 南北に長い <input type="checkbox"/> ちょうどよい都市規模
財政	<input type="checkbox"/> 財政が豊かである。 <input type="checkbox"/> まじめでよく働く <input type="checkbox"/> 公共施設が多い <input type="checkbox"/> 老人に優しい（タダ）
産業	<input type="checkbox"/> 工業都市 <input type="checkbox"/> モノづくりのまち（製造業が多い） <input type="checkbox"/> 産業都市 <input type="checkbox"/> モノづくり
その他	<input type="checkbox"/> 先見の明 <input type="checkbox"/> ペットが多い

□Q2：刈谷市がめざす自治の姿は？

区分	刈谷市がめざす自治の姿
誰もが生き生きと住み続けられる	<input type="radio"/> 一度住んだら住み続けたい <input type="radio"/> 生き生きと暮らせるまち <input type="radio"/> 誰もがいきいき生活できる <input type="radio"/> ゆりかごから墓場まで（地元で就学、就職） <input type="radio"/> 地元を愛せる
子どもを育てる	<input type="radio"/> 緑豊かに子どもを育てる <input type="radio"/> 心と体の大きな人が育つ
市民が主体的にまちづくりに関わる	<input type="radio"/> 多くの市民がまちに関わる <input type="radio"/> 自分たちでまちづくりを考える <input type="radio"/> 互助、共助、自助の心をもつ市民 <input type="radio"/> 市民が主体的に生きることができるとまち
その他	<input type="radio"/> 品よい街（マナー） <input type="radio"/> みんな仲良く <input type="radio"/> 図書館など、点字などいろいろな人に優しい街

□Q3：理想の町（自治）を実現するためには？

理想の町（自治）を実現するために必要なこと
<input type="radio"/> 先人の歴史を大切に伝えていく <input type="radio"/> 市民が責任を果たす責務を自覚 <input type="radio"/> 市民意識が高い
<input type="radio"/> エネルギーを大切に（化石燃料だけに頼らない） <input type="radio"/> 環境を大切に（環境優先都市）
<input type="radio"/> 他都市をリードする、発信する <input type="radio"/> 新しい刈谷らしさを作っていく <input type="radio"/> 産業のバランス（農業も）
<input type="radio"/> 地域ごとによいところを伸ばしあう（地域間競争）

<ステップ③ 重点検討項目の絞り込み>

<input type="radio"/> 理念 <input type="radio"/> 情報共有、情報公開・個人情報保護 <input type="radio"/> 地域自治 <input type="radio"/> 市民参画
--

Bグループ

<ステップ① 条例の骨組み（案）のチェック>

□Q1：今の刈谷市に足りないものは

区分	キーワード	内容
行政	組織・職員	<ul style="list-style-type: none"> ○ PRすることに力を入れない ○ 縦割り行政なので、横とのつながりがない ○ 自分の担当でなければ何も関わろうとしない。行政間の横のつながりが薄い ○ 安心安全に警察は欠かせない存在ですが、市政との関係が不明確 ○ 市職員の気配り、心配りが足りない
	市政運営	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市長に直言する制度（例えば紙つぶてのようなもの） ○ 財政が豊かなので危機感がない。知恵を絞らない ○ 全体を見すぎるあまり、動きが遅くなりがち ○ 今までのことにこだわりすぎる。今後の変革を考えるのを嫌がっているように思える
	情報	<ul style="list-style-type: none"> ○ 透明性責任 ○ 刈谷市の資産量、運営費、運営方法、これも情報 ○ 情報が足りない（市民でもわかる市政の仕組み、会計、決算）。市長、市議は直接選挙ですが、職員の位置づけが不明確（役割、給与） ○ 市民とのコミュニケーション
市民	意識・行動力	<ul style="list-style-type: none"> ○ まちづくり、地域づくりに無関心 ○ 役員の期間中は熱心だが、役を降りればあとは知らない ○ 個人の利益のみを考えている人が多い。自分で考えたり行動する力が不足している
	地域における連携・情報共有	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市政とのコミュニケーション ○ 団体、地区の名簿等の情報、互いのコミュニケーション ○ いろいろなことの情報交換の場（地区毎のしゃべり場） ○ 地域団体（地区）の行政内での地区範囲など不明確 ○ 地域の連携（地区、子ども会、婦人会はうまくつながるが、他の活動団体とはつながらない ○ つながりがない。企業同士、ライオンズクラブ、ロータリークラブ、JC

□Q2：この条例に期待することは

区分	この条例に期待すること
まちづくりの理念・しくみ・ルール	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市政の理念ができることで、市の意思決定のスピードが上がる ○ 誰もが刈谷のまちづくりがどのようになされているかわかる ○ ルールの明確化
市民の参加・意見の反映	<ul style="list-style-type: none"> ○ 未来を担う子どもの意見が、反映される（子どもが市政に参加できるだけ参加できるようになる） ○ 年齢、性別、地域の枠を取り除いた様々な視点からの意見がまちづくりに反映される ○ 行政と市民が話し合う場が増え、お互いがなっとくできるまちづくりができるようになる ○ 市民の悩みや苦情の迅速な収集 ○ 市民の意見、意思が確実に反映する仕組みにより、自分ごととして市民参画 ○ 市民参加、市民が主体、市民が主人公だという思い
地域のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ○ お互い認め合い助け合う精神、支えあうことの大切さ ○ 地域の問題点の収集活動
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 不都合なところは勇気を持って改革する。しがらみを恐れない ○ 市民の誰もが幸福だと考えられる暮らし、市民税を安くする

□Q3：条例で定めるべき項目として、骨組み（案）は適切ですか？

区分	骨組み（案）に追加すべき事項
前文	<input type="radio"/> 市民間で共有するべき歴史、文化を前文に入れる <input type="radio"/> 先人の築いた功績をたたえる。それをさらに受け継いでいく
総則	<input type="radio"/> 市政の基本的なルール、考え方を定める
各主体の役割・責務	<input type="radio"/> 議会での決議事項の市民への伝達方法について
参画・協働	<input type="radio"/> 市民と行政の話し合いの場の設定について（常設） <input type="radio"/> 市民からの提案の吸い上げ方法、実施までのプロセスについて <input type="radio"/> 地域主権の中心はもっと小さい単位の地区にあると思う。そこに権限と予算 <input type="radio"/> 地区長などの決め方も、選挙等、公平さをもたせ、権限を明確化
子ども	<input type="radio"/> 学問をすすめること。人としての基本を教える場づくり <input type="radio"/> 若い力を活かす <input type="radio"/> 子どもの育つ環境に関する視点がない
高齢者・障害者	<input type="radio"/> 高齢者はみんなで支える隣組 <input type="radio"/> 身体障害者にさらなる優遇処置を

<ステップ② 前文を考えてみよう>

□Q1：刈谷市ってどんなまち？

区分	刈谷市の特徴・魅力など
地域性・人柄	<input type="radio"/> 堅実 <input type="radio"/> 創意工夫をし、研究熱心 <input type="radio"/> 於大の方が生まれる風土→於大の方が生まれたのは必然である <input type="radio"/> 武家の町、やることが固い <input type="radio"/> 地味だけど、底力がある <input type="radio"/> 質実剛健、質素 <input type="radio"/> 刈谷市民は経済観念が旺盛だ。言い方を変えればシブチン <input type="radio"/> 儉約の精神がある。現在の財政力はトヨタのみではない <input type="radio"/> 地味な努力の精神。現在のまちづくりへとつながっている。→人材が育ちやすい <input type="radio"/> 刈谷市は先駆者を多く出してきた歴史のまち
産業	<input type="radio"/> 現在の刈谷は稼ぎに来るまち。（若者が多い） <input type="radio"/> 刈谷市は時代の最先端を進めてきたまち <input type="radio"/> 産業と農業が高度にあり、第一線はずれても農業ができる
文化	<input type="radio"/> 交通の要所、東西文化が行き交う、独自の文化を育てたまち
その他	<input type="radio"/> 子育てしやすい町、子どもを育てやすい町、元気な老人が多い町 <input type="radio"/> 教育熱心な町

□Q2：刈谷市がめざす自治の姿は？

区分	刈谷市がめざす自治の姿
住みやすい	<input type="radio"/> だれもが住みやすいと感じるまち
産業・文化などの魅力	<input type="radio"/> これまで築いた産業や文化がより発展したまち <input type="radio"/> 自慢の場所にお客様を招くことができるまち <input type="radio"/> 刈谷に行って見たい名物がある。「オアシス」の次に「アウトレット」 <input type="radio"/> 工業の街から文化の町に脱皮 <input type="radio"/> 文化を芽生えさせて全国に発信、例えば絵画都市とか

区分	刈谷市がめざす自治の姿
市民・地域	<input type="radio"/> ルールが必要でないぐらい、いい意味で市民が自立している <input type="radio"/> 多くなるであろう老人力を活かせる街づくりを <input type="radio"/> 挨拶笑顔が行きかう楽しいまち <input type="radio"/> 子育てを町中で考えられる町
安全・安心	<input type="radio"/> 障がい者を別視しない町 <input type="radio"/> 安心、安全な町

□Q3：理想の町（自治）を実現するためには？

理想の町（自治）を実現するために必要なこと
<input type="radio"/> 刈谷のもつ精神的強みを条文として表現・共有する <input type="radio"/> しゃべり場の常設。誰でも意見を言えて、市政に反映 <input type="radio"/> 市長、市議が考えていることを聞く場を定期的に設ける <input type="radio"/> 市民が自分ごととしてまちづくりを考えていく <input type="radio"/> 子ども議会を常設し、代表者が議会に参加できるようにする <input type="radio"/> 現在、壁があると思われる集団同士がコミュニケーションがとれる場を常設する <input type="radio"/> 相互理解をしやすくする仕組み、教育など
<input type="radio"/> 地域自治に委ねることを増やす <input type="radio"/> 各地区に予算を分散して、その地ならではのまちづくり <input type="radio"/> 各地区で、ごみの出し方を競い合って、より少なくなるように工夫している地区にご褒美を出す <input type="radio"/> 地域問題を見つけ出し、解決策を考えるにとどまらず、策を即実行できる
<input type="radio"/> 市民が常に市政が見える仕組みづくり <input type="radio"/> PDCAの確立

<ステップ③ 重点検討項目の絞り込み>

<input type="radio"/> 条例の位置づけ <input type="radio"/> 自治の基本原則 <input type="radio"/> 行政評価 <input type="radio"/> 情報公開 <input type="radio"/> 地域自治 <input type="radio"/> 子ども <input type="radio"/> しゃべり場
--